

## 1. 短期展望 (p.1)

- ①[ブッシュ政権、司令塔不在で迷走]
- ②[小泉首相、ヤル気なし!]
- ③[楽天 vs. TBSの戦い]
- ④[日本株は更に上昇]

## 2. 展望①：9・08の衝撃：独露枢軸の登場 (p.5)

今年9月8日は国際関係のパワー・バランスが大きく変動した日である。ドイツとロシアの提携関係が浮上し、アメリカに対抗する二大・大陸国家の握手が実現したのである。平成13(2001)年9月11日、アメリカにおける同時多発テロは、国際関係の権力構造を大きく転換させたが、今年の9月8日は、これ以来の最も大きなパワー・シフトが起きた日である。この事件を歴史的・地政学的により大きな視点から展望してみたい。

## 3. 展望②：ベルリンで取り交わされた “二つの契約” (p.16)

この9月8日、ベルリンでは、独露間の新天然ガスパイプライン敷設計画への正式調印の他に、もう一つ重要な契約が締結されている。プーチン政権の国家戦略の大前提とも言うべき露ガスプロム社の再国有化プランに関わる契約である。重要なのは契約の一環として欧米資本によるロシア企業への融資としては史上最大の75億ドルを供与するという事実である。これは、欧米資本がプーチン・ロシアの国家戦略を事実上承認した、まさに歴史的な出来事である。

## 4. 展望③：中央アジアでも進む 独露の戦略的提携 (p.20)

ドイツとのエネルギーを軸にした戦略的関係の構築に大きく踏み出したプーチン・ロシアは、そのドイツの後押しを受けて、中国と一線を画した独自の対中央アジア戦略を遂行し始めている。また、ここに来て、航空宇宙分野でも欧州とロシアの提携の可能性が浮上してきた。独露提携はエネルギー分野を大きく超えた形で発展していく気配を見せている。